

経皮的末梢動脈形成術入院患者における 背景調査のお知らせ

経皮的末梢動脈形成術(以下EVT)を受ける方の背景は糖尿病や心疾患、腎疾患などの合併症を併発した患者が多い傾向にあります。また、身体機能の特徴としても下肢虚血が進行している場合には、潰瘍の形成や疼痛などの影響により歩行が困難な場合も多くあります。このような患者背景の中、A病棟には年間多くの治療を要する方が入退院を繰り返しています。

そこで、過去の診療録を振り返り、患者特徴を理解することで、看護提供内容や病棟運営における示唆を得ることを目的に調査をすることにしました。この調査により、療養環境調整や看護提供内容の質の向上に役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2024年4月から2025年3月の期間において、C7Fに治療入院となった方を対象としています。調査対象期間内に入院した方の診療録から、既往歴・入院期間・介入科・治療内容などの情報を収集し解析を行います。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

C7F看護師 山口 大輔

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)



掲載期間2026/2月～2027/2月